

受理年月日	令和2年3月19日	付託年月日	令和2年3月25日	所管委員会	福祉都市委員会
番号	2 年 請 願 第 8 号				
件名	被爆者の支援事業を充実させるための補助金の増額について				
請願者	中央区荒戸三丁目3-39 福岡市原爆被害者の会 会長 中村 国利				
紹介議員	中山(筆頭)、松尾、山口(湧)、綿貫、倉元、堀内、田中(し)、池田、宮浦、落石、井上、田中(た)、ついはら、山田、成瀬、荒木、森(あ)				
分割付託	総務財政委員会(2年請願第7号)				
要 旨	<p>今年(令和2年)は広島、長崎に原爆が投下されてから75年という節目の年になります。</p> <p>私たち被爆者は、再び被爆者をつくらないと決意し、被爆の実相を国内外に訴え続けてきました。これにより、多くの国々に核の非人道性が支持され、2016年に核兵器禁止条約が国連で採択され、核兵器廃絶へ大きく踏み出しました。現実には核兵器廃絶への道のりは遠く厳しいものがありますが、核兵器廃絶は国際社会の潮流です。</p> <p>県下では、ほとんどの自治体が、非核平和都市を宣言しています。全国的にも90%の自治体が、非核とついで宣言を実施しています。市長が目指すアジアのリーダー都市にふさわしい福岡市非核平和都市宣言を発表し、被爆国の国民として、姿勢を示してほしいと考えます。</p> <p>被爆者の平均年齢も83歳になり、鬼籍に入る人も増え、会員の減少は財政を圧迫し、一方で介護や医療等の相談が増えており、これらの支援充実が求められています。</p> <p>被爆者は、後世の人々が生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。全ての人々を絶対に被爆者にしてはなりません。ヒバクシャ国際署名へのみんなの署名が、核兵器廃絶を求める世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。誰もが署名することを心から訴えます。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <p>1. 高齢化した被爆者の介護などの支援事業を充実させるため、補助金を増額すること。</p>				
審 査	令和 年 月 日	結 果		委員会	令和 年 月 日
年 月 日	令和 年 月 日			本会議	令和 年 月 日
	令和 年 月 日			令和 年 月 日	

2020（令和2年）年3月19日

福岡市議会議長

阿部 真之助 様

請願者 〒810-0062

福岡市中央区荒戸三丁目3番39号
福岡市市民福祉プラザ福岡
福岡市原爆被害者の会
会長 中村国利

冠省 平素より私たち被爆者運動につきましては深いご理解と暖かいご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

つきましては、下記の通り請願書を提出致しますので、何卒ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。

請願の趣旨

今年は広島・長崎に原爆が投下されてから75年という節目の年になります。私たち被爆者は、「ふたたび被爆者をつくるな」と決意し、被爆の実相を国内外に訴え続けてきました。これにより、多くの国々に核の非人道性が支持され、2016年に核兵器禁止条約が国連で採択され、核兵器廃絶へ大きく踏み出しました。現実には核兵器廃絶への道のりはなかなか遠く厳しいものがありますが、核兵器廃絶は国際社会の潮流であります。

福岡県下では、ほとんどの自治体が、「非核平和都市」を宣言しています。全国的にも90%の自治体が「非核」の付いた宣言を実施しています。福岡市長が目指す「アジアのリーダー都市」に相応しい「福岡市非核平和都市宣言」を発表し、被爆国の国民として、姿勢を示して頂きたいと考えます。

被爆者の平均年齢も83歳になります。鬼籍に入る人も増え、会員の減少は財政を圧迫し、一方で介護や医療等の相談が増えており、これらの支援充実が求められています。

私たち被爆者は、後世の人々が生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人々を絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

請願項目

- 1、福岡市は「非核平和都市宣言」を早期に実施してください。
- 2、高齢化した被爆者の介護などの支援事業を充実させるため、補助金の増額をお願いします。
- 3、福岡市長に対し、被爆者が進める「ヒパクシャ国際署名」に賛同の署名を求めます。

